

1. 科目名 (単位数)	知的障害教育 I (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3448 SNMP3448 SCMP3448 SBMP3448 SSMP3348						
2. 授業担当教員	加藤 洋子								
4. 授業形態	講義、グループ討議	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	本科目で得た知識をもとに、知的障害教育 II で基礎的な実践力を養う。								
7. 講義概要	本講義では、知的障害を伴う児童生徒を対象に、インクルーシブ教育時代の教育理念や実践の概要を学ぶ。障害のある人への人権意識や倫理観、それらを支える条約や法令、知的障害の特性及びその特性に対応した教育課程、しばしば合併する自閉スペクトラム症、てんかん、染色体異常等による知的障害の言語代替コミュニケーションを含めた各種療育技法の基礎知識、行動問題、意思決定支援及び幼児期から成人期までを見通して多様かつ変化するその実態を捉える資質を培う。								
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。</p> <p>①知的障害を伴う人の人権、支援する側の倫理観。 ②知的障害教育に関連する法令や学習指導要領の内容。 ③知的障害、発達障害、自閉スペクトラム症、てんかん、脳機能障害等の定義、特性や対応、発達支援・自立支援・教育環境。 ④知的障害教育に特有の「各教科等を合わせた指導」の内容・方法。 ⑤個別の教育支援計画・個別の指導計画等の特徴。 ⑥知的障害の評価と支援、コミュニケーション、意思決定支援、行動問題、安定した環境整備。</p>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>シラバスに記載している毎回の授業の要点をレポート (A4 1~2枚) をしてください。</p> <p>②教育指導計画・教育支援計画・教材づくりを実践的に学び演習する。 ③ICTによる障害児童や保護者との面談・交流を体験し、特別支援教育について理解を深める。 ④グループで知的障害、発達障害、自閉スペクトラム症、てんかん等の定義、特性、教育環境についての合理的配慮点などをまとめ発表すること ⑤文部科学省「生きる力」の教育「知的障害教育」について学び要点をまとめる。 ・本授業は、アクティブラーニング方式でグループワークにより事前事後学習、発表を行い「学ぶ」「気づく」の主体的学習姿勢・グループでの役割認識を重視する。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書】①新版 子どもの発達障害事典 原 仁 (編集) 著 合同出版; 新版 (2019/2/8) ② 特別支援教育の基礎・基本 第4版 著作: 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所、ISBN コード: 978-4-86371-713-8 発行: ジアース教育新社、発売日: 2025年3月6日</p> <p>【参考書】 ①文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 (平成29年4月)』海文堂出版 2018。 ②文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編 (幼稚部・小学部・中学部)』開隆堂 2018。 ③文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部) (平成30年3月)』開隆堂 2018。 *教科書①、②は必須、特別支援学校教員採用試験を受ける人は参考書①②③も購入してください。 尚、学習指導要領とその解説書は、WEB からダウンロードすることも可能です。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 特別支援教育の理念と制度の概要を理解したか。 2. 知的障害・発達障害の定義や特性を理解したか。 3. 知的障害教育の教育課程、特に「各教科等を合わせた指導」の法的根拠や背景、内容を理解したか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業での態度</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト・課題研究</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件です。</p>			1 授業での態度	総合点の30%	2 小テスト・課題研究	総合点の30%	3 期末試験	総合点の40%
1 授業での態度	総合点の30%								
2 小テスト・課題研究	総合点の30%								
3 期末試験	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>①特別支援教育の重要性が高まっている理由について、疑問や興味をもって授業に臨みましょう。</p> <p>②教師になった自分をイメージしながら発表や演習を行いましょう。</p> <p>③知的障害教育の教師には、人を大切にできる姿勢、相手を主役として活躍を促す姿勢、不測の事態に柔軟に対応する知識と技能が必要です。授業外でもさまざまな体験を通して人と関わり、保護者が大切な子どもを安心して託せる、人間性豊かな専門家をめざしてください。</p> <p>④知的障害児のADLの自立や個別の発達をアセスメントし適切な教育計画を立てることができるよう、また家族とともに共通目標を持って指導に当たることができるよう学んでいきましょう。</p> <p>⑤障害特性を理解し子どもたちの持っている力を引き出すことができるよう指導内容や教育環境の整備・自立支援・発達支援について考察し実践力をつけていきましょう。</p>								
13. オフィスアワー	別途通知します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション／・強度行動障害児者からみる知的障害児者教育・強度行動障害児者の生活を通して、家庭環境・教育環境・発達支援・社会参加など教育実践について考える 児童期の発達障害.pdf	事前学習	児童期の発達障害.pdf をまとめておく。						
		事後学習	第4次障害者基本計画 https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/kihonkeikaku30.pdf の「教育の振興」部						

			分をウェブで調べておく。
第2回	二分脊椎児・ダウン症児を含む染色体異常の病態を知り、特別支援教育の方法について学ぶ 資料；発達障害児のリハビリテーション 永井書店	事前学習	資料；発達障害児のリハビリテーション 永井書店をまとめておく。
		事後学習	に二分脊椎児の病理・生理・心理を理解しておく
第3回	・二分脊椎児の ADL の自立と医療上気を付けるシャント・足部の血行障害 ・知的障害特別支援教育の種類と知的障害児療育・特別支援教育の歴史と子供の教育を受ける権利 二分脊椎等資料.pdf	事前学習	二分脊椎等資料.pdf を読んでまとめておく
		事後学習	二分脊椎児の自立支援・教育環境について考える
第4回	・発達障害について ICD11、DSM-5 の評価基準から、病態・障害特性等を知り、特別支援教育方法を学ぶ。・自閉症児の MOVEMENT 教育を映像から学ぶ。児童期の発達障害.pdf	事前学習	ICIDH と ICF の違いを説明できるようにしておく。
		事後学習	「特殊教育」「特別支援教育」の違いや共通点を理解しておく。
第5回	「イギリスにおける『特別な教育的ニーズ』に関する制度の特徴・ウオーノック報告より第2回授業 ウオーノック報告の概観.pdf	事前学習	「ウオーノック報告の概観.pdf を読んでまとめておく。
		事後学習	イギリスにおける特別支援教育から得た我が国の特別支援教育について過程を概観する。
第6回	・知的障害教育を学ぶ。・知的障害教育カリキュラムと教育指導計画について理解する。 教科書 子どもの発達障害辞典より	事前学習	教科書 子どもの発達障害辞典より知的障害を理解する。
		事後学習	知的障害教育カリキュラムを復習する
第7回	・個別支援計画と個別支援教育計画について理解する・障害者差別解消法の変遷と合理的配慮への理解を深める。知的障害・発達障害について診断基準・知能検査等について学ぶ。知的障害児の障害特性に合わせた教育指導個別支援計画を自立生活・合理的配慮のもと考える。	事前学習	特別支援学校の目的や、知的障害教育の教育課程の根拠となる法令を確認しておく。
		事後学習	「各教科等を合わせた指導」「自立活動」の概要を掴んでおく。
第8回	・脳機能障害と知的障害の阻害要因を理解する。 ・個別支援計画・個別教育計画について理解する。 ・合理的配慮について理解する。(ハード面・ソフト面) 知的障害教育のポイント・指導計画.pdf 教科書 子どもの発達障害辞典により	事前学習	知的障害教育のポイント・指導計画.pdf 教科書 子どもの発達障害辞典を読んでおく
		事後学習	脳機能と機能障害について復習する。
第9回	・障害状況に合わせた教育支援カリキュラムの単元と年間活動計画・個別支援教育計画について学ぶ 参考資料：文部科学省 第3編 障害の状態等に応じた教育的対応より 障害に応じた教育的対応.pdf	事前学習	障害に応じた教育的対応.pdf について予習しておく
		事後学習	「各教科等を合わせた指導」とは何か、法令や学習指導要領解説に基づき説明できるようにしておく。
第10回	知的障害に合併しやすい疾患② 自閉スペクトラム症とその周辺	事前学習	「ADHD」「自閉症スペクトラム (ASD)」を読んでおく。
		事後学習	「発達障害」の2つの概念について整理しておく。
第11回	知的障害に合併しやすい疾患③ てんかんとその対応	事前学習	「てんかん」を読んでおく。
		事後学習	学校場面での発作に対応できるように、ポイントをまとめておく。
第12回	知的障害に合併しやすい疾患④ 肢体不自由や重症心身障害、その他の概要	事前学習	「脳性麻痺」、「重症心身障害児」を読んでおく。
		事後学習	教師が行なう医療的ケアのポイントをまとめておく。
第13回	・グループ学習・要点発表・教育課題の整理 ・発達障害とは何か、主な発達障害について理解する 教科書 子どもの発達障害辞典より	事前学習	グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。
		事後学習	各グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。
第14回	グループ学習・要点発表・教育課題の整理 ・特別支援教育の内容とその方法・発達障害児の特別支援教育と障害特性に合わせた教育方法について理解する。 教科書 子どもの発達障害辞典より	事前学習	グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。
		事後学習	グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。
第15回	グループ学習・要点発表・教育課題の整理 ・発達障害児の専門的ケア：支援・手帳・専門職・相談機関と家族支援について理解する。 教科書 子どもの発達障害辞典より	事前学習	グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。面談について事前学習しておく。
		事後学習	グループ学習課題発表打合せ資料の作成・役割分担について話し合う。
期末試験			
知的障害・発達障害のある児童の脳機能の病理・心理の基礎学習力を評価する。60%			